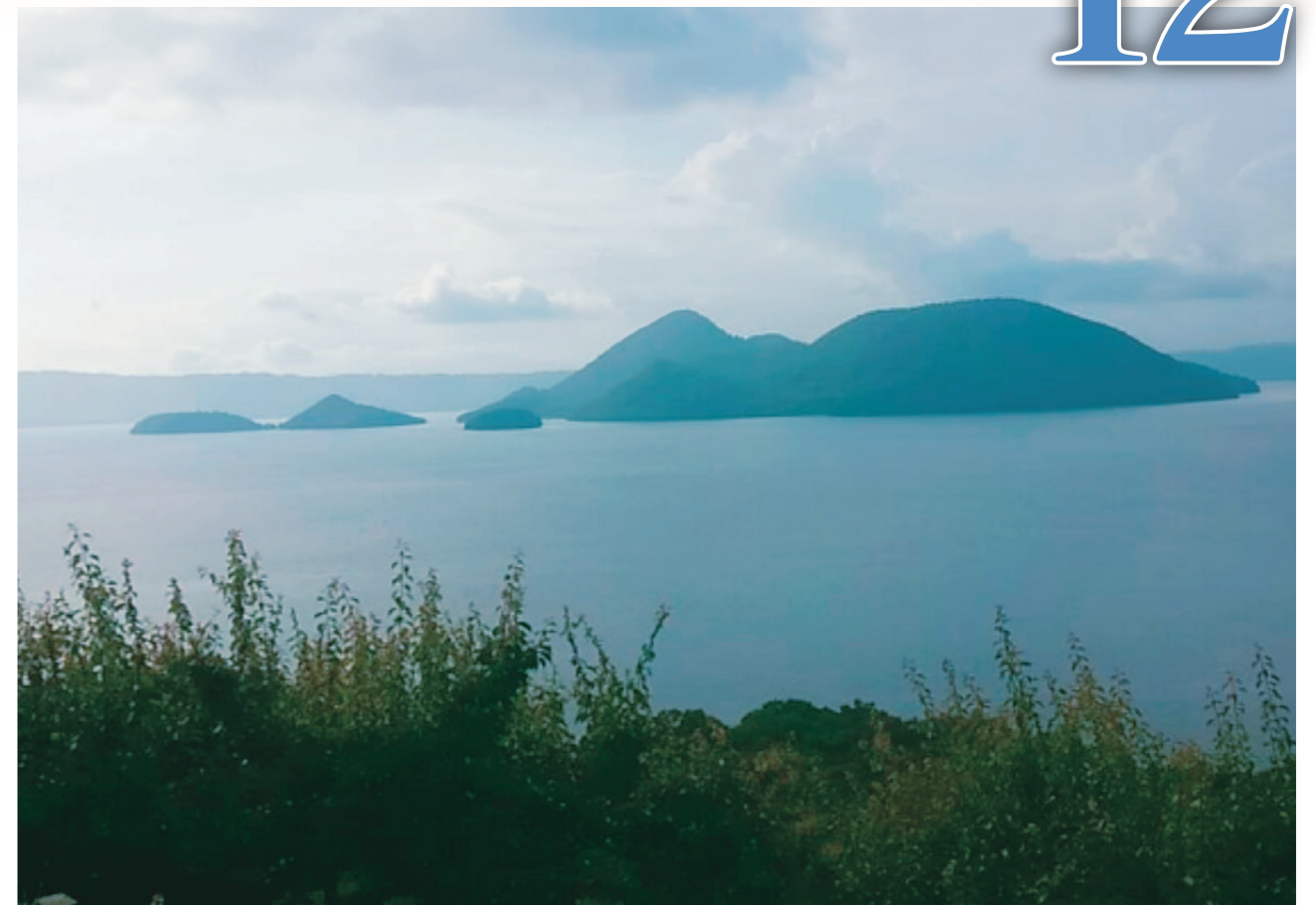


2015-2016 ガバナー月信

GOVERNOR'S Monthly Letter 12



国際ロータリー第2510地区 2015-2016年度ガバナー 嵯峨義輝

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
e-mail: rid2510@nifty.com <http://rid2510.org>



2015-2016年度 国際ロータリーのテーマ

「世界へのプレゼントになろう」

Be a gift to the world



国際ロータリー第2510地区 2015-2016年度 地区目標

1. 会員増強と維持率向上の推進

会員数5%純増

2. オンラインツールの利活用の推進

「ロータリークラブ・セントラル」「My Rotary」への登録、利活用推進
ウェブサイトやSNSを活用した公共イメージの向上

3. 人道的奉仕活動の継続と推進

ポリオ撲滅、復興支援、国際奉仕活動の継続と推進

4. ロータリー財団への理解と協力支援の継続

ロータリー財団に関する情報発信
直接的・間接的寄付の継続

第2510地区
重点課題

1. クラブ戦略計画への支援

2. 新会員のフォロー支援

3. クラブサポートの強化

Contents

●ガバナーメッセージ	1
●ポリオ撲滅とロータリアン	2
●地区大会報告	5
●ガバナー公式訪問報告	10
●ロータリー、来し方行く末	14
●ロータリー グローバル リワード委員会の設置について	15
●ロータリーコーディネーターニュース	16
●ポリオプラス委員会より/文庫通信	17
●米山学友委員会より	18
●米山寄付・ロータリー財団寄付/米山奨学生のご紹介	19
●新会員のご紹介/訃報	20
●地区カレンダー	21
●出席率・会員数	22



公式訪問での出会いに感謝して

国際ロータリー第2510地区

2015-2016年度ガバナー **嵯峨義輝** (岩見沢RC)

早いものでもう師走です。上期も残り1か月となりましたが皆様のクラブの活動は順調に進んでいる事と思います。

7月7日の深川ロータリークラブを皮切りに始まった公式訪問も11月26日、岩見沢に無事帰り着き第2510地区内70クラブの皆様の熱い心に触れる事が出来ました。公式訪問に際しては事前に周到な準備を頂き、更にはあたたかく迎え入れて頂いた事に感謝申し上げます。私も事前に頂戴した資料に目を通し訪問に臨みましたが、実際に会長・幹事懇談会、クラブ協議会の中で直接お話をすることで改めて皆様のロータリーへの情熱、また直面している課題へのご苦勞などを共有できたと思っています。それぞれ地域性やクラブの規模の違いはありますが各クラブ工夫を凝らして素晴らしい活動をされている事、魅力あるクラブづくりに努力されている事に心より敬意を表します。公式訪問の中では特に会員増強をお願いしてきました。当然私がお願いするまでもなくクラブの永遠の課題として取り組まれているわけではありますが、お陰様で10月末時点、当地区は2600名を超える会員数となりました。是非この勢いを更に押し進め地区目標とした5%純増達成に向けご協力をお願いします。また、すでにご案内をさせて頂いておりますが、1月30～31日に入会3年未満の会員を対象とした一泊での合宿セミナーを開催いたします。実費をいただ

く事となりますが多くの新会員の皆様の参加をお待ちしています。せっかくロータリークラブに入ったのですから是非とも参加して頂き新しい刺激に触れ、多くの友人を得て頂きたいと思っています。

さて12月は疾病予防と治療月間です。今年度新しくRIが指定する月間となりました。皆様もすでにご承知の通りこれはRI及びロータリー財団の重点分野という事で、地域社会の医療従事者の能力向上、疾病蔓延を防止するための地域住民の教育、疾病予防プログラムなどに取り組んでいます。ポリオプラスは更に上位の最重点項目ではありますがガバナー月信11月号でポリオプラス委員会より報告のあった通りナイジェリアがWHOによりポリオ常在国リストから外され、常在国はパキスタンとアフガニスタンの2カ国を残すのみとなりました。これは我々ロータリーが積極的に取り組んだ成果であります。今こそポリオ撲滅の最終段階と言えるでしょう。手を緩めることなく目的達成のために力を合わせてまいりましょう。

12月になると次年度の組織も出来上がり、地区の行事の次年度対応の動きが増えてきます。ただ私達の任期はまだ半分が残っています。今一度初心に帰りラビンドランRI会長テーマ「世界へのプレゼントになろう」を実践するときです。皆様のご活躍を期待しています。風邪などひかぬよう留意され、素晴らしい新年をお迎えください。



ポリオ撲滅とロータリアン

地区ポリオプラス委員会

委員長 **岡崎 芳明** (小樽南RC)

《はじめに》

私たちは、今人類史上天然痘に続き、治療法の不明なポリオウイルス感染から身を守る最終段階にきていると思います。これには、多くの時間と、資金、医療従事者、保健スタッフ、研究者などの協力と犠牲の上に立っています。ロータリアンとして、長期間問題の解決に向け、全力で努めてきました。

地区ポリオプラス委員会は、今回月信に記事を掲載する機会を与えられました。医学的な事象の説明は省きポリオ撲滅の経緯と資金の状況、戦略を下記要領にてお伝え致したいと考えています。

- I、国際ロータリーポリオ撲滅活動の歴史
- II、ポリオ撲滅は可能な理由
- III、ポリオ撲滅に掛かる費用について
- IV、最後の難関
- V、纏め

I、国際ロータリーポリオ撲滅活動の歴史

1955年米国で2万8985人がポリオにかかりました。1963年経口ワクチンが開発されました。

ロータリーとポリオとの係わりは最初1979年フィリピンにて600万人の幼児を対象に5カ年計画でポリオ免疫活動を開始した事が始まりです。

ポリオ撲滅活動は1982年2月のRI理事会で、2005年に国際ロータリーの100年祭を迎えるまでに、全世界の児童をポリオから守るワクチン接種を完了させることを目標とする決議がされ、1985年2月ロータリー創始80周年にあたり、RIはポリオプラス計画を発表、1986年日本国内では、募金総額40億円を最終目標として、5年計画のポリオプラスの募金キャンペーンが始まり、5年間で目標を大きく超える49億円の寄付を集めました。

1988年第41回世界保健総会でポリオを全世界で撲滅する決議が採択されました。この年にはポリオの患者は125カ国以上の常在国に35万人いたと推計されています。そこで国際ロータリーは、各国政府、WHO、米国疾病予防管理センター（CDC）、ユニセフを主導し、ビル&メリンダ・ゲイツ財団を含む主要な関係機関の支援を受け、世界ポリオ撲滅イニシアティブ（GPEI）が始まりました。

国際ロータリーは2009年～2012年までの2年間に2億ドルの資金を集めることを公表し、2億ドルチャレンジを成功裏に収めました。

ポリオワクチン接種を始めてから、最初にポリオ根絶を宣言したのは、1994年北米・中米・南米地域でした。次いで2000年、日本を含む、西太平洋地域で根絶宣言がなされました。この輝かしい宣言は「京都宣言」として発表されました。この京都宣言の内容から日本のロータリアンの中には、ポリオは一区切りついたと思われるようです。WHOは2002年にヨーロッパ地域での撲滅宣言を行いました。2011年のインドでの成功は、最も難しい地域でのポリオ発症を止めたこととなります。

残りのナイジェリア、アフガニスタン、パキスタンの常在国からポリオが撲滅できなければ世界で毎年20万の患者が発生する可能性があります。

GPEIは、戦略計画最終プラン2013年～2018年を計画しました。国際ロータリーはこの期間にビル&メリンダ・ゲイツ財団と共同で、総額5億2,500万ドルの資金を提供する計画をたて、倍額をビル&メリンダ・ゲイツ財団が支出することは決まり、ポリオ撲滅エンドゲーム計画（END POLIO NOW）がスタートしました。

2014年3月にはインドと東南アジア地域の撲滅宣言を行いました。

同年、WHOは、アフリカ地域や地中海沿岸諸国で野生ポリオの流行が見られ、緊急事態宣言を発

し、監視と対策を強化し、ワクチン接種活動等強化を図ってきました。その間に、ワクチン接種活動を拒む、宗教や民族間の争い、テロなどにより、多くのポリオ関係スタッフの命が奪われました。

2015年8月、アフリカ大陸地域で1年間ポリオの発症報告がありませんでした。

このような状況の基で、同年9月アフリカのナイジェリアはポリオ常在国から外れたことは、感歎する成果であると考えます。イスラム過激派のボコ・ハラムの活動が続き、内政不安な中でワクチン接種活動が続けられたことは素晴らしい成果であり、2014年にポリオ撲滅に成功した、インド大陸に於けるポリオワクチン接種活動のノウハウが大いに参考になったと考えられます。あと2年間ポリオの発症が無ければアフリカ大陸はポリオフリーとなります。世界で現在野生ポリオ常在国として残っているのは、アフガニスタンとパキスタン2ヶ国になりました。GPEIが発足してから99.9%以上ポリオを減少させることが出来ました。

II、ポリオ撲滅は可能な理由

どうしてこのように野生ポリオ根絶に時間が掛かったのでしょうか。

歴史上、世界で唯一ウイルス撲滅に成功したのは天然痘です。

天然痘は紀元前よりありました。致死率が高く、世界中で長い期間蔓延していましたが、近年ワクチンが開発され、WHOは、1958年に世界天然痘根絶計画を発表しました。

然し、当初ワクチン接種率を上げてでも発生率は低減しませんでした。天然痘の感染者は皮膚に症状が現れ、罹患者が判りやすく、従って、接触者を特定することが容易でしたので、そこで、患者を見つけ出し、周辺の接触者にワクチン接種を行うことで効果が得られました。1980年天然痘が撲滅されました。

ポリオと比較し、短い時間で撲滅できた理由に、世界の人口は現在の半分ぐらいでした。また冷戦時代で、世界は2極化しており、テロなどの複雑な政治情勢は、ありませんでした。

一方、ポリオは感染しても発病しない人がいます。顔や体に症状が現れないため、感染者を特定することが難しく、感染は広範囲に広がります。人口も増加し、テロや貧困、宗教的な障害もあり、ワクチン接種が徹底出来ない問題があり、撲滅に時間が掛かっています。

しかし、ポリオも天然痘のように、撲滅が可能な理由として、天然痘もポリオも診断が可能であり、ウイルスの宿主は人であり、追跡可能であること、また有効なワクチンが存在するという根拠です。

またインドなどの撲滅活動実績が撲滅可能なことを証明しています。

インドの推定人口は12億5千万人です、0歳から5歳までの人口が1億7千万人です。

全国予防接種日に係るワクチン接種活動のボランティアは2百万人が参加します。地域の水道や道路、電気などの社会インフラが不十分で、従って、不衛生で、川や、感染し易場所が多く、身分制度が残り貧困から抜け出せない人が沢山います。

ワクチン接種対象の5歳未満の子供を特定できない状態の中で、ポリオワクチンの全国予防接種日の告知も十分ではなくポリオ根絶が不可能と思われたインド大陸で 2014年ポリオ根絶に成功しました。私たちの力は、困難な状況の基でも、諦めずに活動を継続すると、ポリオ撲滅は可能であることを証明しています。

III、ポリオ撲滅に掛かる費用について

ポリオ撲滅まであと一歩ですが、それに必要な具体的な金額・期間について、GPEIの発表によりますと、2013年～2018年に必要とされる資金について、

予防接種活動	26億00百万ドル
監視と反応行動能力	6億88百万ドル
ポリオウイルス封じ込め	49百万ドル
WHOやUNICEFへの技術支援	18億44百万ドル
間接費用	3億43百万ドル
支出合計	55億25百万ドル
寄付実績(2012年からの繰越金含め)	19億86百万ドル
寄付見込み額(2013,ワクチンサミットにおける約束額40億ドル)	30億45百万ドル
最善の場合でも不足な金額	4億94百万ドル

ポリオの予防には、定期的に予防接種を高レベル（80%以上）で確保する必要があります。監視活動として、15歳以下の子供たちに急性の麻痺が発症していないか、保健スタッフが定期的に医療機関を訪問しています。ポリオの発症か否かを判断する為、糞便標本をテストします。ポリオウイルスを特定し、ウイルスの正確な遺伝子情報を決定し、正確な地理上の特定をすることにより、ポリオウイルスの広がりを防ぎます。また下水のサンプル調査を行い、体系的な環境の監視を行います。また、ターゲットを絞ったドアツードアの予防接種ポリオ掃討活動を実施します。

ポリオ撲滅に掛かる費用は寄付見込みを計算しても**5億ドル不足**しています。

	2013年各国政府・各団体寄付約束額	2014年7/31現在	(単位：百万ドル)
イギリス	457	298	
ノルウェー	252	172	
カナダ	244	103	
ドイツ	152	54	
アメリカ	91	191	
日本	10	21	(+ JACA 475)
ゲイツ財団	1,800	412	
国際ロータリー	77	160	
その他	959	508	
合計	4,042	1,919	

IV、最後の難関

10月27日現在（GPEI報告）世界で野生株によるポリオはパキスタン（38症例）アフガニスタン（13症例）の51症例に減っております。（昨年同時期は256症例）

ただ残されている地域は政情不安定な地域のため最後の0.015%は今まで以上困難である事は間違いありません。残された国はパキスタンとアフガニスタンです。

パキスタンのイスラム教徒は、家長が絶対権限を有し家長がワクチン接種を許可しなければ、接種できません。また、パキスタンは多民族で構成されており、言語はバローチー語、ウルドゥー語、パシュート語、シンド語、英語、と州により混在しており公用語は英語ですが、イスラマバード付近のみでほとんどの国民は解りません。国語はウルドゥー語ですが、民族により話す言葉が異なるので、ウルドゥー語を話す人が少なく、他の民族は理解することはできません。

そのような環境では、伝言が主な通信方法であり、識字率は60%ですが、公用語の識字率はそれより低く、女性は、もっと低いと考えられています。従い、政府の出す情報は多くの国民が理解出来ません。また中央政府が管理出来ない連邦直轄部族地域やパキスタンの実行支配地が存在し、ワクチン接種活動は非常に困難な状況です。この様な状況でパキスタン政府はワクチン接種を拒絶する男親を500人逮捕し、本腰をいれたとのこと。然し、2018年迄には根絶するためには、2015年度中に最後のポリオ発症者を抑えることが必要です。

一方アフガニスタンは、ポリオ根絶に向け、GPEIの資金の提供を受け、生ワクチンを一部不活化ワクチンの導入を図り、撲滅に力を入れています。また、隣国と全国予防接種日を同一にし、ワクチン接種活動は国境を越え、隣の国へ入り、アクセスしにくい地域の子供たちにワクチン接種を行うなど、隣国と協力し合い、高レベルの接種活動を目指し行われています。現在両国共に、緊急アクションプランを設け、ポリオ監視体制の強化を図っています。

V、纏め

ポリオ撲滅運動は最難関と考えられてきましたインドでさえ根絶宣言が出され、ナイジェリアも常在国から外れた現実を考えると、決して不可能な事ではなく、逆に99.9%まで撲滅されている今、手を休めると再び流行し今までの努力は無駄になり根絶は更に困難になると思われます。もし再流行すると10年間で20万人以上の子供に感染する力を持ち40年間でポリオ発症数が1000万人以上と言う以前の状態に戻る可能性があると言われてます

ロータリーが長年努力してきたポリオ撲滅事業を無駄にしない為にも、ロータリー会員皆様の温かいご協力をお願いいたします。

国際ロータリー第2510地区 地区大会報告

地区大会を終えて

地区大会実行委員会

委員長 **大屋 均** (岩見沢RC)

10月3日、4日の2日間RI会長代理金杉誠様、令夫人美鈴様をお迎えし、国際ロータリー第2510地区内70クラブのロータリアン1525名、ロータリー関係者合わせて1755名の参加をもって岩見沢にて地区大会が開催されました。期間中は記念ゴルフ大会(2日)の前日まで爆弾低気圧と称される暴風雨にゴルフ大会開催が危ぶまれる気象状況でしたが、かろうじて激しい雨とはならず、お世辞にも良い条件と言えぬ中ではありますが、80名の参加登録頂きました全てのロータリアンがホールアウトできました事に、ホット胸を撫で下ろしたものです。明けて3日塚原房樹エイドご夫妻と共に、千歳空港に到着した金杉誠RI会長代理ご夫妻をお迎えした時、まさに地区大会の開催を実感させて頂きました。

嵯峨ガバナーノミニーの誕生と共に今大会のホストを担う事になった我岩見沢RCは、早速大会実行委員会を組織し、「メイドイン岩見沢」をコンセプトに活動を開始しました。この間それぞれの委員会は適時協議を繰り返し、参加登録会員の確定の後プログラムの印刷に入ったのは、シルバーウィークの明けた9月24日の事でした。地区大会の正確な全体像が決まり、準備を進めておりました各委員会は、3日、4日の大会に向けて「そつなく、品よく、岩見沢らしく」をテーマに作業は一気にヒートアップし、深夜までの作業を余儀無くされる委員会もあり、私としては頭が下がる思いと同時に、今大会の成功を確信させて頂いたものです。

今大会公式プログラムは3日13:00よりの会長・幹事会が嵯峨義輝ガバナーの点鐘によりスタートし、金杉誠RI会長代理よりご挨拶〜クラブの活性化と戦略計画〜を頂いた後、協議・報告と続き14:00に閉会となりました。地区指導者育成セミナーは同じ会場を使用し14:20より講師をお迎えして、2部構成で進められました。釧路RCよりパストガバナー小船井修一様、東京西RCより鈴木隆志様の2名の講師よりロータリーの明日を見据えた示唆に富んだお話を頂きました。

RI会長代理歓迎晩餐会は、会場を隣のホテルに移し、RI会長代理ご夫妻、RI第3700地区総裁孫昌銖様、RI第3490地区総監邱添木様の入場の後、武部實ガバナーエレクトの乾杯にて宴に入りました。料理・お酒は地産の材料・酒蔵にこだわりつつ提供させて頂き、和やかな雰囲気の中で時が流れた2時間でした、きっとご満足頂いたものと秘かに思っております。晩餐会御開きの後はそれぞれ用意させて頂いた2次会に足を向けられ、大会第1日目が終了しました。

10月4日本会議開催の朝を迎え、ホスト・コホストのクラブは早朝より昨日のリハーサルにおけるチェック事項の再確認等々、オープニングまでの残された時間の中で緊張感が極みに達した9:00少し過ぎ、嵯峨ガバナーの点鐘により本会議はスタートしました。プログラムの中程、北海道知事・岩見沢市長松野哲様よりの御祝辞を頂いた後、参加クラブの紹介が賑やかに行われました。昼食をはさんで開催された並行プログラム、新会員セミナーには奈良大宮RCよりPG北河原公敬様より「ロータリーと菩薩の心」と題し講話を頂き、参加した入会3年未満の会員130名の心に大きな感銘を与えて下さいました。

午後に入り岩見沢出身の外交ジャーナリスト手嶋龍一様による「自立する北海道」〜自己決定権の時代〜として講演頂き、一般市民100名を加えた会場は静かに聞き入って、大きく頷く会員様が沢山おられた様に思います。講演終了後は表彰、ガバナーエレクト、ガバナーノミニー紹介とプログラムを進め、RI会長代理所感を頂く中で「excellent!」と身に余る評価をいただき、嵯峨ガバナーの指導の下この大会の成功に向けて、皆で知恵を出し、汗を流して今日を迎えた実行委員会の皆様と共に、安堵と共に込み上げるものを感じた次第です。場所を移しての記念懇親会は計画よりも15分早く入場、パーティーモードとなり記念囲碁大会(9月20日開催)ゴルフ大会の報告の後、アトラクション、大道芸人SOBUKIの息をのむ凄技に圧倒され、大きな拍手が湧き起こりました。アトラクションはフォークソングステージへと移りますが、この頃になるとロータリーの友情出店・地元の有名店・そば処ロータリ庵等が軒を並べた屋台村の店の売り切れが続出し、嬉しい悲鳴となりました。

18:30閉会のご挨拶を国立金助ガバナーノミニー様より頂き、ロータリーソング「手に手つないで」を大きな声で唱和し、全てのプログラムを終了させて頂きました。

本大会において、ロータリーの発展・その戦略についてご教授頂きました、RI会長代理金杉誠様を始めとした講師の皆様、大会に参加登録頂き国際色豊かに盛り上げて下さいました沢山のロータリアンの皆様に、心より感謝申し上げ、地区大会の報告とさせていただきます。

第1目

10月3日

会長・幹事会

岩見沢平安閣



開会式



嵯峨ガバナー



金杉誠RI会長代理

地区指導者育成セミナー

岩見沢平安閣



ガバナー挨拶



小船井修一講師



真剣に聞き入る

RI会長代理歓迎晩餐会

ホテルサンブラザ



金杉RI会長代理ご挨拶



歓迎の三重奏



記念撮影

第2日目

10月4日(日)

本 会 議

まなみーる「岩見沢市民会館」



本 会 議



歓迎の言葉 大屋実行委員長



嵯峨ガバナー挨拶



孫昌銖RI第3700地区総裁



インターアクター



米山奨学生



参加クラブ紹介



記念講演講師 手嶋龍一氏



表 彰

記念懇親会

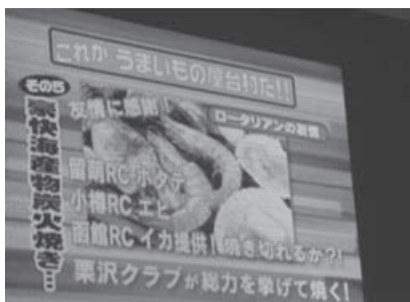
イベントホール赤れんが



熱気あふれる会場



乾杯!



屋台村の紹介



旨いものが盛りだくさん



アトラクション



飲んで食べて楽しく懇親



手に手つないで



感謝の握手

記念ゴルフ大会



記念撮影



表彰式

記念囲碁大会



真剣なまなざし



表彰式



参加者の皆さん

並行プログラム



新会員セミナー



スパウsprogram



青少年プログラム

ガバナー公式訪問報告

紙面の都合ならびに原稿の到着日により掲載が前後する場合がございますのでご了承下さい。

浦河ロータリークラブ

10月20日

10月20日(火)に、嵯峨ガバナー、中村地区幹事、江本地区幹事補佐をお迎えし公式訪問が開催されました。



朝の10時からの懇談会では、会長、幹事、会長エレクトの6者対談で、嵯峨ガバナーと会長エレクトが同じ業種仲間で、笑いのたえない懇談でありました。午前11時からのクラブ協議会では各委員長から今年度の活動方針の報告を致しました。それに対して嵯峨ガバナーより会員増強には、会員への声掛け、幹事からの会員へのメール、辞めないための火消し部隊の必要性などコミュニケーションが一番大事だとアドバイスを頂きました。また当クラブでパラグアイ日本人学校に本を贈る手助けなどをおこなっていることをお褒め頂いたことも、感謝いたしております。そして最後にMy Rotaryの登録の重要性と登録についてもアドバイスを頂きました。午後12時20分から例会を開催し嵯峨ガバナーより基調講演を頂き、ポリオ撲滅、ロータリー財団の講話をして下さいました。今後のクラブ活動に、とても有意義な時間を過ごすことができましたこと感謝を申し上げますと共に、公式訪問の御礼とさせていただきます。

静内ロータリークラブ

10月21日

10月21日(水)、嵯峨義輝ガバナー、中村良臣地区幹事、江本勝典地区幹事補佐をお迎えして公式訪問例会、



会長・幹事懇談会、クラブ協議会を開催致しました。

当クラブは地理的に遠隔地のため、ガバナーはもとより、地区からの来訪も多くはなく身内寄りに活動することが多くなりがちで、この度の公式訪問を会員一同心待ちにしておりました。

嵯峨ガバナーより頂きましたMy Rotary登録のご指摘やクラブ運営に関するご助言を今後の活動に役立てて参ります。

公式行事後は嵯峨ガバナーとの友情を深める懇親の場を設け、熱い思いをお聞かせ頂き、静内クラブメンバーはその思いに応えるべく更に深化した奉仕活動に取り組んで行く決意を新たに致しました。

嵯峨ガバナーが残り8ヶ月の任期を無事に務められる事を念願し、何よりも健康で過ごされますよう祈念致します。

札幌北ロータリークラブ

10月26日

ガバナー公式訪問は10月26日(月)、センチュリーロイヤルホテルの20階で嵯峨義輝ガバナー、小山司ガバナー



補佐、山本公彦地区幹事、中路幹雄地区幹事補佐をお迎えして行われました。

先ず、クラブ会長、幹事、会長エレクト、副幹事との懇談会は午前10時、小山ガバナー補佐の司会で始まり、当クラブの特徴について問われて、数年前から50代、40代、30代の若い年代の会員が増えて、クラブの雰囲気活性化しつつあることを説明しました。過去5年間の会員数のデータ推移か

ら、新会員が増えても、退会者も多い、会員の増加が見られない理由は何か?と嵯峨ガバナーから厳しい質問を頂きました。今年度は4ヶ月足らずで4名の新会員があり、幹事から年度末までに目標は10名純増と説明したことで、ご了解を得て、ガバナーから退会防止策の手だてをご教示頂き、今後の会員増強に期待する旨の激励を諭されました。

11時からの第2回クラブ協議会では、各委員長からクラブ活動計画書を使用して活動方針と活動計画の説明が行われ、その後、嵯峨ガバナーより講評を頂き、特に第2510地区目標であるオンラインツールの利活用についてお話があり「My Rotary」への登録、推進への要望を強調されました。今後、幹事、事務局との連携で、会員の「My Rotary」登録を推進すべく努めて参ります。

12時30分、例会場へ移動し、会員全員が起立し、拍手の中でお迎えました。通常の例会行事を終えた後に、嵯峨ガバナーの講話を頂きました。

ラビンドランRI会長のエピソードや長年のロータリー活動、ガバナーエレクト研修時の体験談をユーモアを交えて語られました。初めて嵯峨ガバナーのお話を聴かれた会員には気さくなお人柄に魅了されたことと察します。

有益な数々のロータリーライフの事項について、講話をいただき誠にありがとうございました。

札幌西北ロータリークラブ 10月29日

10月29日(木) 嵯峨義輝ガバナー、
小山司ガバナー補佐、齋藤聡地区幹事、
更には大屋均地区大会実行委員長

をお迎えし公式訪問が行われました。

午前10時からの会長、会長エレクト、幹事との懇談では、当クラブのモットーである「明るく、楽しく、出席しやすいクラブ」をテーマに当クラブの取り組みについて説明をいたしました。また嵯峨ガバナーよりポリオ撲滅に対するロータリーの思い、情報共有の為のMy Rotary活用促進のお話をいただき大変有意義な懇談となりました。

午前11時からのクラブ協議会は、各委員会委員長による今年度の活動計画、活動状況を報告いたし、その後、各委員会活動について嵯峨ガバナーより貴重なご指導をいただきクラブ協議会を終えることが出来ました。

午後12時30分からの例会では、嵯峨ガバナーより、札幌西北RCが出来た当初からモットーを持っているのは素晴らしいとの賛辞をいただき大変感激いたしました。また、RCの軸足についての質問に答えるようにRCが発展してきた原動力は職業奉仕そして社会奉仕であり、「四つのテスト」はロータリーの職業奉仕の原点であるとの情熱的なお話をいただき大変有意義な公式訪問になりましたことをご報告申し上げます。

最後ではございますが、今回の公式訪問に対し、当クラブ一同心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



砂川ロータリークラブ 11月4日

11月4日(水)、嵯峨ガバナー、松原ガバナー補佐、赤山地区幹事、小川地区幹事補佐をお迎えし、公式訪問例会が行われました。

午前10時の会長・幹事懇談会では、ガバナー補佐の進行のもと、各々自己紹介から始まり、今年度会長の目標であります会員の増強並びに委員会を極力多くしながら、上と下の意識をなるべく縮めていく事が、最大の目標とお話すると、ガバナーからは会員増強は少ない目標でなく大きな目標を掲げることが大事である事。そしてMy Rotary登録を全員がされることで、いろんなことがわかり5年以降の会長が、



今までの様な活動を行ってきたかMy Rotaryによって一目でわかる非常に便利であり、ぜひ全員の登録をと、お話をいただきました。

11時からのクラブ協議会は、理事・役員・委員長出席のもと、職業奉仕・社会奉仕とはじまり全ての委員会の活動報告が発表され、主に職業奉仕についてお話を頂き、目的は会員相互の事業利益の増大・会員相互の交流などについて、過去の食器メーカーの実話を交えながらお話を頂きました。12時30分からの公式訪問例会は、会員の拍手でガバナーをお迎えし、食事終了後、ガバナー補佐の御挨拶後ガバナーの講話が行われました。RI年度目標の第1はポリオ撲滅、第2は会員増強について等々、ガバナーのロータリーにおける熱い思いを、非常に有意義にご講話を頂き例会を終了いたしました。

恵庭ロータリークラブ

11月11日

11月11日(水)、ガバナー公式訪問が行なわれました。

嵯峨ガバナー、坂井ガバナー補佐、山本地区幹事、赤山地区幹事をお迎えし会長・幹事懇談会が始まり、大変和やかな雰囲気の中で有意義な会議を行なう事が出来ました。

その後クラブ協議会に移り、各委員長より今年度の事業計画並びに方針を発表致しました。

終了後はガバナー、ガバナー補佐、地区幹事を囲んで昼食をとり、通常通りの例会へと移りました。嵯峨ガバナーより今年度のRIテーマ「世界へのプレゼントになろう」について、RI会長のお考えをより詳しく、大変分かりやすくご説明頂きました。

また、地区大会においてのご苦勞や成功に至るまでのお話をユーモアを交えながらご講演下さり、会員全員がクラブとして団結し行事を成し遂げる事の大切さや、互いの友情を深めながら「貧者の一灯」という言葉を胸に、奉仕活動を続けていく素晴らしさを改めて感じる事が出来ました。

嵯峨ガバナーを始め、坂井ガバナー補佐、山本地区幹事、赤山地区幹事には、お忙しい中当クラブを訪問して頂き誠に有難うございました。

失礼も多々あったかと思いますが、ガバナーよりたくさんのお褒めの言葉と激励を頂戴し、今後のロータリー活動に益々力を入れて参りたいと思えました。これからも何卒宜しくお願い申し上げます。



芦別ロータリークラブ

11月12日

11月12日(木)、嵯峨義輝ガバナー、松原章ガバナー補佐、長田正文地区幹事、中村良臣地区幹事の4氏をお迎えし、ガバナー公式訪問が行われました。

芦別クラブは、岩見沢ロータリークラブのスポンサーで1957年誕生いたしました。奇しくも今年度は30年振りの岩見沢クラブよりのガバナー誕生ということで、待望のガバナー訪問となりました。

早朝秋晴れの中、まず昭和43年造成の芦別ロータリーの森を視察して頂きました。管理運営に対しお褒めの言葉を頂いたあと、10時からは会長・幹事懇談会が行われ、当クラブ北会長より、本年度の計画書、運営目標等のご説明と、芦別における地域の現状報告がおこなわれ、当クラブ次期会長も交え、過疎地域に係わる貴重な意見交換をさせて頂きました。引き続き11時より、理事会メンバーを加えクラブ協議会が行われ、当クラブの各委員長よりクラブ運営の経過報告が行われました。嵯峨ガバナーか



らは当クラブが毎年お盆に行っている物故会員追悼例会にご関心を示されご質問がありました。炉辺会合についてのガバナーの忌憚のないご意見や、ローターアクト発足についてのアドバイス等もいただき、各委員長はこれからの活動に参考となる貴重なご意見を沢山いただきました。

12時15分より、通常の例会となり、嵯峨ガバナーから会員に向けた講話をいただきました。今年度のRIテーマ「世界へのプレゼントになろう」を掲げられた、K.R.ラビンドラン氏について、テーマの主旨説明やご発言などの真意を分りやすくお話をしていただき、誠実なお人柄がうかがえる講話となりました。またポリオプラス計画についての経緯、実績、ロータリーの会員数の増減なども、数字を基にお話を進められ、統計に関係した職業ならではの、会得しやすい講話をしていただきました。大変ありがとうございました。

苦小牧ロータークラブ

11月13日(金)

11月13日(金) 嵯峨ガバナー、谷岡ガバナー補佐、山本地区幹事、赤松地区幹事をお迎えしてガバナー公式

訪問が開催されました。

9時30分から当クラブ名誉会員である岩倉市長表敬訪問は、市長が外遊中で不在だったため佐々木副市長に対応していただき、ポリオ撲滅への取組み・地域の現状についての意見交換がなされました。10時からは会長・幹事懇談会が開催され、青地会長から当クラブの特徴・取組みについての説明の後、嵯峨ガバナーから出席率と会員の定着率向上へ向けたクラブとしての取組み方・情報の共有へ向けてのMy Rotaryへの登録が如何に有効であるかお話をいただいたほか、普段お聞きできない貴重なお話をしていただくなど有意義な時間を過ごす事ができました。

11時からのクラブ協議会は、各委員会の活動計画の発表の後、嵯峨ガバナーから当クラブが更に充実した活動を推進できるようアドバイスを含めたご講評をいただきました。

12時30分からの例会では嵯峨ガバナーのこれまでの経験を交えた貴重な卓話をいただき楽しいひと時を過ごす事ができました。嵯峨ガバナー、谷岡ガバナー補佐、山本地区幹事、赤松地区幹事大変ありがとうございました。



美郷ロータークラブ

11月19日(木)

11月19日(木) 嵯峨ガバナー、郷ガバナー補佐、山本・赤山両地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問を

実施いたしました。

朝10時よりの会長・幹事懇談会では、当クラブは地区ナンバー1の高齢クラブであるというお話を頂き、会員増強を中心にフランクな会話の中で、貴重なお話をしていただきました。

11時からの協議会においては、当クラブの各委員長の報告に対して、ガバナーから、ロータリーの社会奉仕の原点であるシカゴの公衆トイレ設置の話を変えながら、各委員長に講評をいただきました。

12時15分より始まった例会卓話では、ガバナーから4つのテストを中心に具体的なお話をいただき、ガバナー補佐、地区幹事からも他クラブの現状についてお話を聞くことができ、今後のクラブ活動に向け、とても参考になる大変有意義な例会となりました。

最後に、訪問していただいた4名の皆様に、心よりお礼申し上げます。



ロータリー、 来し方行く末

連載 第6回

ロータリーのバッジは いいバッジである



国際ロータリー第2510地区

パストガバナー 塚原 房樹
(札幌東RC)

ロータリーのバッジはいいバッジです。デザインがいいだけというのではなく、やはりロータリーの伝統がにじみ出ているからでしょう。そのせいか、会員はいつでもどこでも、このバッジをつけています。もしバッジの着用率というものがあれば、おそらく全員100%でしょう。これに比べて出席率の方は、なかなかそうはいきません。例会への出席は時間がかかるし、規則も面倒でなかなか簡単にはいきませんが、バッジをつけるにはそんな面倒な問題がありません。これはどだい比較する方が無理ということになりそうですが、それで片が付く問題でしょうか。

出席率の方はさて置いて、バッジの着用率は何故いいのか考えてみましょう。一口で言えば、それは我々がロータリーに誇りを持ち、バッジの効果を認めているからでしょう。それは我々が《選ばれた人》であるという事実とその意識を持っていることも作用しているでしょう。

ロータリーは、始祖ハリスを除いて、自分からロータリアンになろうとしてなれる組織ではありません。ロータリアンはそれぞれの地域社会のなかの職業を分類してそれらの業界の代表として会員に選ばれました。ただし我々が襟に着けているロータリーのバッジは先輩が長年築いてきた信用の証しなのです。

その先輩たちが築いてきた信用を我々は前借りしているのです。

ロータリーのバッジには「ノーブレス オブリージュ」の義務が伴います。

「ノーブレス オブリージュ」とは「高貴なる者に伴う義務」の意味をあらわすフランス語です。我々は社会の模範となるように振る舞うべきだという社会的責任を自覚しなければなりません。つまりロータリーのバッジを着用するものは、先輩たちから前借りしたロータリーの信用を返していかなければなりません。ロータリーのバッジをつけることは、ロータリーの目的と精神を実現するためなのです。

ロータリーのほとんどの会員は、多忙な人ばかりです。デジタル時代のすさまじい進化と普及が世の中を変え、現代の特徴の一つは《いそがしい》ということです。考えなければならないのはその《いそがしさ》をもたらしているものが始祖ハリスをして、ロータリーを作らしめたものと同じだということです。

それは現代文明の特徴といえます。多くの貴重なものが、《いそがしさ》のために押し流されていきます。世の中が忙しくなればなるほど、ロータリーはそれに立ち向かっていかなければなりません。そしてまた、《いそがしさ》のために、我々はロータリアンとしての、我々自身を、押し流してしまわなければならないようにしなければなりません。

他のことと同じように、立派なロータリアンになることはたやすいことではありません。けれども我々がロータリーの理想を理解し、ロータリーに負っているものを深く自省するなら誰もがいいロータリアンになれます。ロータリーのバッジはいいバッジです。それは我々の資格を表すよりも、義務を示しています。

ロータリー グローバル リワード委員会の設置について

委員長 鍋谷 操 子 (函館セントラルRC)

副委員長 久保田 俊 昭 (札幌RC)

ロータリーの新しい会員特典プログラム「ロータリー グローバル リワード」が2015年7月1日から開始され、この8月に地区に委員会が設置されました。

当委員会は、本プログラムの周知を図り、ロータリアンによる利用を推進し、会員の満足度を高めて会員増強につなげることを目的としております。

また、奉仕活動やロータリー財団への支援に対する会員の皆様への感謝の気持ちでもあります(なお、委員会の詳細については「My Rotary」をご覧ください)。

2014年10月のRI理事会において、ラビンドランRI会長エレクトの提案によって、ロータリアン同士の物質的・金銭的な相互扶助が認められるようになり、さらに2015年6月開催のサンパウロでの国際大会で、ラビンドランRI会長が、7月からスタートした「ロータリー グローバル リワード」について発表をされるなど、新しいうねりを感じさせるものがあります。

当委員会としては、国際ロータリーの指導に基づいて、当プログラムのロータリアンへの普及・奨励を図る所存ではありますが、現時点においては「My Rotary」でその概要を知る程度しか情報が無く、今後の進展を期待しているところであります。

ここで、新しい会員特典プログラム「ロータリー グローバル リワード」の概要をご紹介します。

● 割引&特別提供

様々な商品やサービスの割引を利用できます(レンタカー、ホテル、レストラン、エンターテイメント等。今後、世界中にラインアップが広がる予定)。

● プログラムの仕組み

割引を利用できるのは、My Rotaryにアカウント登録をしたロータリークラブ会員のみであります。アクセスは、パソコン、スマートフォン、タブレット型端末から、割引の検索や利用のページにアクセスできます。

● サポート

個々の特典や割引に関する質問は、各会社に直接問い合わせ願います。

(現時点で、参加企業の掲載は全て英語となっているが、今後、他の言語でも追加される予定であります)。

この特典を利用できるのは、現時点ではロータリー会員のみで、配偶者や家族は利用できず、北海道エリアで利用できるお店はありませんが、今後充実していくものと期待しております(支払いはロータリーカード以外のクレジットカードも利用可能)。

ロータリーコーディネーターニュース

2015年11月号

国際ロータリー第1ゾーン

ロータリーコーディネーター 代行 (ARC)

酒 井 正 人 (函館五稜郭RC・PG)

国際ロータリーのホームページ rotary.org から会員増強のリソースとして世界各地の2015-16年度地域別会員増強計画概要と実行計画がダウンロードして閲覧できます。一度、比較参照して見るのも良いと思います。

日本(第1・2・3ゾーン)の計画の概要と実行計画は現地区ガバナー(DGE時)に対するアンケートの結果を基に指標が組み立てられています。紙面の関係で主なものを下に一覧として掲載してみましたので、詳しくはウェブサイトを確認をしてください。

計画の実施には地区ガバナー、地区ガバナーエレクト、地区会員増強委員会とクラブが協力して進めていただきたいと思います。また地区には各担当コーディネーターがお声をかけていただければ出向いて協力したいと思います。

クラブの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラブ支援のための研修を1・2・3ゾーン合同で行う ・ 理事他役員は地区に赴きクラブ会員の基盤向上に務める ・ 30%のクラブがロータリークラブ・セントラルで最小15の目標を設定し、達成状況を記録する ・ 30%のクラブがウェブサイト、ソーシャルメディア、広報を更新し、もっと生き生きしたものにする ・ 30%のクラブが「クラブ評価」を実施し、多年度にわたる会員増強戦略を立てる
入会への関心の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地区で少なくとも新しいクラブを1クラブ設立する ・ 男女比を縮小するために女性会員を2%増やす ・ 年齢層を広げるため40歳未満の会員を少なくとも2%増やす ・ 奉仕プロジェクト、ネットワークづくりのイベント、募金活動など、一般の人が共に参加でき若い職業人の関心を引くような大規模なプロジェクトや行事を主催する
会員の積極参加	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新会員の推薦及び会員維持率を少なくとも1%増やす ・ 各クラブで会員の50%がMy Rotaryに登録するよう奨励する ・ クラブとロータリアンが一般の人にロータリーを伝えるためのロータリーのストーリーを作成するのを援助する

以上

ポリオプラス 委員会より

野生型ポリオは昨年より確実に減ってきています。しかし今撲滅の手を休めると又増えてくる事になります。今期の募金目標額は会員1人30ドルとなっておりますが、金額は基よりお願いしたい事は地域の皆様へポリオ撲滅の意義と募金を行うキャンペーン活動です。是非昨年同様各クラブの皆様には地域に対するポリオ撲滅のキャンペーンを計画をお願い申し上げます。

END
POLIO
NOW

野生型ポリオ症例数

2015年11月18日現在

ポリオ	国	2015年11月11日	2014年同時期	2014年度合計	麻疹が発生した最後の年月日
常在国	パキスタン	39	235	306	2015年10月22日
	アフガニスタン	13	18	28	2015年10月21日
常在国 以外	ナイジェリア	0	6	6	2014年7月24日
	ソマリア	0	5	5	2014年8月11日
	赤道ギニア	0	5	5	2014年5月3日
	イラク	0	2	2	2014年4月7日
	カメルーン	0	5	5	2014年7月9日
	シリア・アラブ共和国	0	1	1	2014年1月21日
	エチオピア	0	1	1	2014年1月5日
世界合計		52	278	359	

【ポリオのない世界を実現させるにはやるべき多くのことがあります】

10月24日の世界ポリオデーは、私たちがポリオ発症の減少の成果を祝うと共に次の1年の為に準備する機会でもあります。残る世界のポリオ常在国はアフガニスタンとパキスタン2国となりました。



これらの2国は、ポリオウイルスを撲滅させるために協調努力を行う必要があります。ポリオワクチン接種から漏れているアフガニスタンの子供を無くすることにより、パキスタンは残りの隠れ場所にいるウイルスの感染を阻止します。パキスタンは、コミュニティーの従事者を訓練し、現場の医療従事者を保護し、すべての子供にワクチンを届ける進捗状況を加速する必要があります。アフガニスタンは、安全な環境の中で、すべての地域の子供たちにワクチンを届ける交渉を強化する努力が必要です。

アフガニスタンとパキスタンは、緊急アクションプランを設け、ポリオ監視体制を強化し、調整し、迅速に対応できるシステムを構築することが重要になります。

【私たち会員の寄付した資金はこの様に使われています V】

◀ポリオワクチンをラクダで運ぶポリオワーカー

右手に持っているのがポリオワクチンが入っているアイスボックスです。

文庫通信



(338号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

デジタル化されたロータリー文献 (3)

[下記申込先：ロータリー文庫]

「留学生援助の意義」 増田房二 吹田R.C. 1978 14p

「D.259『座談会 米山奨学会に望む』に対応して」 増田房二 米山記念奨学会 1983 5p

「米山奨学事業の精神的原点」 増田房二 1983 34p

「落穂集(改訂版)」 斎藤堅治 青森R.C. 1979 186p

「決議23-34はロータリーのキイ・ポイントである 増補改訂版」 末積 正 関西ロータリー研究会 1987 125p

「"He Profits Most Who Serves Best" (最もよく奉仕する者、最も多く報いられる) について思う」 鳴海淳郎 1998 11p

「ハーバート・J・テラーの『我が自叙伝』を読んで」 鳴海淳郎 1999 8p

「卓話 最近のロータリーに思う 附国際ロータリーに物申す」 油木恒久 2004 15p

「ロータリー100年その歩んだ道」 油木恒久 2006 31p

「スリランカ10年 1998-2009 -学校から始めた生活習慣病の予防」 小林 博 2009 70p

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館/午前10時~午後5時 休館/土・日・祝祭日

米山学友委員会より

委員長 **本 多 宏 行**

11月1日(日)、札幌パークホテルで米山学友会(北海道)の定時総会が開催されました。この日の役員改選では設立以来務められた陳省仁会長から、新たに汪志平会長にバトンが渡されました。この誌面をお借りして汪会長の挨拶を掲載させていただきます。また引き続き行われた懇親会ではロータリー米山記念奨学会理事の塚原パストガバナー、武部ガバナーエレクトをはじめとするご来賓の皆様や現奨学生、関係のロータリアンの皆様にもご参加いただき盛会裏に終える事ができました。感謝申し上げます。また米山奨学生の皆さんには卒業後は学友会への入会を宜しく申し上げます。



米山学友会(北海道)

会 長 **汪 志 平**

本日、皆様にはお忙しいところ、米山学友会(北海道)の総会・懇親会に、ご臨席いただき、誠にありがとうございます。

先ほどの総会で、役員の変更を行いました。陳会長のご推薦、そして学友の承認を頂き、私が新会長となりました。しかし、人との付き合いは得意ではないと私が自覚しており、一応2年1期だけを条件に、引き受けいたしました。

北海道米山学友会は、設立してから17年、毎年1回、11月頃に総会を開催してまいりました。毎回、多くのロータリアンのご参加を得て、盛会裏に続けることができましたことは、学友の一人として、誠に嬉しい限りです。

学友にとりましては、米山奨学金を頂いた年度から古くにつれ、お仕事が多忙であったり、また住まいの点でも、札幌を離れて遠隔の地に移っておられる方が多くなるため、どうしても出席できない方が増えてまいります。

しかし、それらの方々も、年に1回は、旧友の顔などを見るために総会に出席して頂きたいです。今日の総会には、遠くは函館・室蘭から、わざわざおいで下さった方もございます。

思い出話というものは、いつ、どこで語り合っても、楽しいものですが、私たち米山学友の共通の思い出となるものは、学業に励んで経済的に苦しい時に、大きな額の奨学金をもらいました時の経験でしょう。

23年前に、私が北海道大学経済学研究科博士課程3年の時に、この幸運に恵まれました。そのおかげで、研究に専念でき、学会や学術雑誌で成果を発表し、学位論文を仕上げ、北海道大学で初めて経済学の課程博士となりました。そして、その後すぐ助手(現在は助教と名称を変えている)として採用され、2年後は現在の勤務先である札幌大学に専任教員として採用されました。

振り返ってみると、もしその時米山奨学金がもらえなかったら、たぶんアルバイトに多くの時間を費やしてしまい、当時は非常に難しいと言われていた経済学博士学位の取得もできなかったかもしれません。学位がなければ、大学教員とは別の道を歩んでいったのではないかと思います。こう考えると、米山奨学金が私の人生軌道を大きく変えた賜りのものでした。いつも感謝の気持ちで一杯です。

以上は、まったく私個人のことを申し上げましたが、おそらく他の多くの学友も似た経験をもっているのではないのでしょうか。

思い出の話は、何度語り合っても楽しいものですし、奨学金をもらった当時お世話になったロータリアンのクラブ、カウンセラー、それ以降の人生の移り変わり、そして現在の仕事などを含め、ごゆっくり旧交を温めあい、ご歓談いただきたいと存じます。

この場をお借りいたしまして、米山学友会(北海道)が設立してから、長年会長をお務めになってきた陳省仁先生に対して、心から感謝を申し上げます。陳先生、お疲れ様でした。本当にありがとうございました。

新しい役員一同、これから努力は致すつもりではありますが、なにかと行き届かないこともあろうかと存じます。どうかご遠慮なく、お申し出ください。皆さんにも是非ご協力をお願いします。

はなはだ簡単ではありますが、新会長就任の挨拶といたします。



米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌西RC	森谷 明弘	会員(13回)	9月3日	札幌南RC	加藤 正雄	会員(4回)	10月6日
苫小牧北RC	朝倉 瑞昌	会員(2回)	9月8日	札幌南RC	師尾 純一	会員(5回)	10月6日
深川IRC	成田 雅敏	会員(5回)	10月29日	札幌南RC	佐藤源五郎	会員(11回)	10月6日
深川IRC	渡辺 一義	会員(5回)	10月29日	札幌南RC	佐藤 嘉一	会員(2回)	10月6日
美唄RC	吉村 誠治	会員(10回)	10月30日	札幌南RC	田尾 大樹	会員(2回)	10月6日
美唄RC	宝崎 錠二	会員(5回)	10月30日	札幌南RC	徳中 征之	会員(3回)	10月6日
江別RC	笹浪 哲雄	会員(2回)	10月30日	札幌南RC	山本 勤	会員(2回)	10月6日
札幌北RC	竹原 巖	会員(16回)	10月2日	札幌南RC	吉尾 弘	会員(5回)	10月6日
札幌手稲RC	池田 和陽	会員(1回)	10月5日	千歳セントラルRC	羽芝 涼一	会員(1回)	10月20日
札幌手稲RC	吉田 守宏	会員(2回)	10月5日	千歳セントラルRC	松坂 敏之	会員(1回)	10月20日
札幌南RC	網野 泰文	会員(2回)	10月6日	恵庭RC	大川 武志	会員(1回)	10月19日
札幌南RC	福山恵太郎	会員(4回)	10月6日	浦河RC	蘇田 又栄	会員(2回)	10月21日
札幌南RC	本間 良二	会員(2回)	10月6日	函館東RC	池垣 清信	会員(28回)	10月28日
札幌南RC	伊藤 清	会員(2回)	10月6日				

米山功労クラブ

札幌西RC	26回	9月3日	札幌南RC	42回	10月6日
苫小牧北RC	19回	9月8日	千歳セントラルRC	3回	10月20日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

苫小牧RC	橋本 洋一	会員(2回)	9月9日	札幌南RC	川崎 秀雄	会員(2回)	10月23日
江別RC	笹浪 哲雄	会員(2回)	10月30日	札幌南RC	熊本 努	会員(2回)	10月23日
札幌北RC	村川 舜一	会員(3回)	10月2日	札幌南RC	佐藤源五郎	会員(3回)	10月23日
札幌北RC	竹原 巖	会員(6回)	10月2日	札幌真駒内RC	中山 裕視	会員(7回)	10月29日

ポール・ハリス・フェロー

室蘭北RC	菅原 義男	会員	9月30日	札幌真駒内RC	山田 廣	会員	10月29日
札幌手稲RC	池田 和陽	会員	10月7日	札幌南RC	佐藤 嘉一	会員	10月23日

～米山奨学生のご紹介～

ロータリーとの交流を通じて

ソリガ (岩見沢RC)

私はロータリー米山奨学生のソリガと申します。中国内モンゴル出身で、現在博士課程の三年生です。博士2年生の時から奨学生としてご採用されて、岩見沢クラブでお世話になっております。実は、2014年に長男が生まれて、家庭と学業の両立で大変な時期に米山奨学金の支援を頂いたことは私にとってすごくありがたいことでした。もちろん金銭面では学費を払って、最低限の生活保障もできて、勉強や学術論文の完成に励むことができました。私米山奨学生になる前は、ロータリーって留学生を支援する団体だけと思っていましたが、毎回の例会、クラブのみなさんとの交流を通じて、ロータリーって奨学金の提供のみではなく、地域社会へ、さらに世界へ幅広い奉仕活動を求めているとことがわかって、感動しました。本当に素晴らしいと思います。ロータリアンの寄付金を頂いている奨学生の一員として、やっぱり寄付の本当に意味を理解し、将来母国と日本との懸け橋になって国際平和に貢献するべきです。私一人の力はとても小さいかもしれませんが、でも留学生、ロータリアン、皆さんの力を合わせれば、きっと世界への良いプレゼントになれると信じています。



新会員の紹介 (敬称略)



静内RC
長部 淳子
7月2日入会
飲食業



静内RC
掛川 亨
7月2日入会
損害保険



静内RC
谷岡 康成
7月2日入会
競走馬育成



室蘭東RC
刀祢 光男
7月15日入会
新聞発行



伊達RC
青塚 剛志
10月6日入会
電力製造業



千歳セントラルRC
山口 康弘
10月6日入会
不動産仲介業



江別RC
秋田 耕児
10月8日入会
電気事業



伊達RC
池田 茂樹
10月20日入会
農業



室蘭東RC
佐々木孝之
11月4日入会
生命保険



小樽南RC
松尾和歌子
11月6日入会
仏教



小樽RC
西村 仁
11月10日入会
商業地方銀行



岩見沢RC
河野 芳廣
11月12日入会
一般写真業

訃報

慎んでお悔やみ申し上げますと
ともに心からご冥福をお祈り
申し上げます。



紺野 誠一 会員 (苫小牧北RC)
2015年10月30日ご逝去
(享年89歳)
【ロータリー歴】
1992年8月4日 入会
2002~2003年度 会長
米山功労者マルチプル (4回)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (8回)



白川 勇 会員 (室蘭東RC)
2015年10月29日ご逝去
(享年68歳)
【ロータリー歴】
2006年8月 入会



岡村 信明 会員 (江別西RC)
2015年11月3日ご逝去 (享年65歳)
【ロータリー歴】
1997年7月 入会
2001~2002年度 幹事
2004~2005年度 ガバナー補佐幹事
2005~2006年度 財団・米山奨学会委員長
2010~2011年度 社会奉仕委員長
2011~2012年度 新世代委員長
2012~2013年度 国際奉仕委員長
2014~2015年度 幹事

地区カレンダー (12月・1月)

12月 疾病予防と治療月間	
1 (火)	ロータリー財団地域セミナー (東京)
2 (水)	第2回ガバナーエレクト研修セミナー(東京) 第2回ガバナー会 (東京)
3 (木)	～4 (金) ロータリー研究会 (東京)
4 (金)	
5 (土)	～10(木) 国際奉仕検証ツアー (タイ)
6 (日)	
7 (月)	
8 (火)	
9 (水)	
10(木)	
11(金)	
12(土)	
13(日)	
14(月)	
15(火)	地区ガバナー指名委員会 (札幌)
16(水)	
17(木)	
18(金)	
19(土)	
20(日)	
21(月)	
22(火)	
23(水)	天皇誕生日
24(木)	
25(金)	
26(土)	
27(日)	
28(月)	
29(火)	
30(水)	
31(木)	

1月 職業奉仕月間	
1 (金)	元日
2 (土)	
3 (日)	
4 (月)	
5 (火)	
6 (水)	
7 (木)	
8 (金)	
9 (土)	
10(日)	
11(月)	成人の日
12(火)	
13(水)	
14(木)	
15(金)	
16(土)	
17(日)	～23(土) 国際協議会(米国・サンディエゴ) 2016学年度米山奨学生選考試験 (札幌)
18(月)	
19(火)	
20(水)	
21(木)	
22(金)	
23(土)	
24(日)	
25(月)	
26(火)	
27(水)	
28(木)	
29(金)	
30(土)	～31(日) 新会員合宿セミナー (登別) 地区ガバナー補佐会議 (登別)
31(日)	

2015年12月のロータリーレート 1ドル 120円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2015.7.1	2015.10.31	増 減	内女性	
1	深 川	4	34	37	3	3	84.12
	羽 幌	5	43	46	3	2	77.82
	妹背牛	4	11	11	0	0	75.00
	留 萌	4	38	41	3	3	78.35
	小 計		126	135	9	8	78.82
2	赤 平	4	26	26	0	0	80.00
	芦 別	4	37	37	0	2	78.53
	砂 川	4	37	39	2	0	92.95
	滝 川	5	78	83	5	4	75.00
	小 計		178	185	7	6	81.62
3	美 唄	4	32	32	0	0	85.64
	江 別	5	31	32	1	1	91.04
	江別西	4	26	26	0	3	87.50
	岩見沢	5	73	75	2	0	93.39
	岩見沢東	2	22	22	0	3	81.98
	栗 沢	4	22	22	0	1	94.20
	栗 山	4	22	26	4	5	100.00
	当 別	4	27	28	1	1	81.50
	小 計		255	263	8	14	89.41
4	札 幌	4	117	129	12	2	98.14
	札幌はまなす	4	16	16	0	2	92.19
	札 幌 北	3	34	38	4	3	93.64
	札幌モーニング	4	39	39	0	0	79.85
	札 幌 西	3	51	51	0	8	85.51
	札幌西北	5	32	32	0	3	81.50
	札幌手稲	4	37	39	2	4	88.36
	小 計		326	344	18	22	88.46
5	札 幌 東	5	122	126	4	0	95.90
	札幌清田	4	16	16	0	4	100.00
	札幌幌南	5	70	71	1	14	100.00
	札幌真駒内	4	24	23	-1	4	100.00
	札 幌 南	3	79	80	1	0	98.76
	札幌大通公園	3	13	13	0	1	69.23
	新 札 幌	3	24	24	0	3	86.98
小 計		348	353	5	26	92.98	
6	岩 内	4	19	21	2	1	80.52
	倶知安	3	39	40	1	5	72.50
	小 樽	4	74	75	1	2	85.92
	小樽南	4	73	74	1	2	91.49
	小樽銭函	5	19	19	0	1	80.00
	蘭 越	3	10	10	0	0	100.00
	余 市	4	48	49	1	5	84.00
	小 計		282	288	6	16	84.92

10月出席率・ 会員増減数	クラブ数	70クラブ
	期首会員数	2,526人
	当月末会員数(女性)	2,618人(139人)
	増加会員数	92人
	当月平均出席率	83.68%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2015.7.1	2015.10.31	増 減	内女性	
7	千 歳	4	54	57	3	4	91.23
	千歳セントラル	4	38	39	1	4	77.56
	恵 庭	4	46	49	3	2	75.84
	北 広 島	4	17	18	1	1	79.16
	長 沼	2	19	19	0	3	85.00
	由 仁	4	8	9	1	0	61.11
小 計		182	191	9	14	78.32	
8	えりも	4	18	19	1	1	96.05
	三 石	3	13	13	0	1	78.76
	様 似	4	21	21	0	1	72.62
	静 内	4	64	68	4	1	90.15
	浦 河	3	22	24	2	0	100.00
	小 計		138	145	7	4	87.52
9	伊 達	4	55	58	3	0	87.60
	室 蘭	5	30	36	6	0	52.20
	室蘭東	3	34	34	0	0	84.80
	室蘭北	4	40	39	-1	3	69.87
	登 別	4	32	32	0	1	84.35
	洞 爺 湖	3	9	9	0	0	100.00
小 計		200	208	8	4	79.80	
10	函 館	4	82	87	5	1	76.63
	函館亀田	3	41	41	0	4	88.89
	森	4	33	35	2	0	85.70
	七 飯	4	17	17	0	0	70.50
	長万部	2	8	8	0	0	68.70
	函館セントラル	4	22	22	0	2	76.41
小 計		203	210	7	7	77.81	
11	江 差	4	12	12	0	1	54.00
	函館五稜郭	4	51	52	1	0	89.30
	函 館 東	4	47	48	1	5	74.84
	函 館 北	4	21	21	0	0	91.25
	北 斗	5	13	14	1	0	54.20
	松 前	2	4	4	0	0	75.00
小 計		148	151	3	6	73.10	
12	白 老	4	33	33	0	2	76.00
	苦小牧	4	51	55	4	2	86.62
	苦小牧東	5	27	28	1	6	89.29
	苦小牧北	4	29	29	0	2	92.48
	小 計		140	145	5	12	86.10
合 計		2,526	2,618	92	139	83.68	

※札幌幌南RCには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数14名(内女性会員9名)を含む

第9グループ各クラブ紹介

創立順に紹介いたします。

- **室蘭ロータリークラブ**は1936年23名で創立しました。第9グループの中で最も古く、伊達ロータリークラブ、室蘭東ロータリークラブのスポンサークラブです。また1972年には2510地区ガバナーとして、富田 恭様を輩出しております。現在のメンバー数は35名です。
- **伊達ロータリークラブ**は1959年23名で創立しました。昭和46年(1971)には仙台巨理RCと姉妹友好クラブ締結し、平成3年には、茅ヶ崎湘南RCと友好クラブ締結しております。洞爺湖ロータリークラブのスポンサークラブです。現在のメンバー数は56名です。
- **室蘭東ロータリークラブ**は1961年30名で創立しました。室蘭北ロータリークラブと登別ロータリークラブのスポンサークラブです。現在のメンバー数は35名です。
- **洞爺湖ロータリークラブ**は1969年に24名で創立しました。毎年北海道ツーデーマーチを率先して協力しています。会員数は昨年が6名でしたが、今年3名の入会があり現在9名です。
- **登別ロータリークラブ**は1969年24名で創立しました。2005年ロータリー100周年の時の2510地区のガバナーとして、遠藤秀雄様が采配をふるわれました。
現在もパストガバナーとして活躍しております。現在の会員数は31名です。
- **室蘭北ロータリークラブ**は1971年31名で創立しました。現在のメンバー数は40名です。若い会員が多く将来が楽しみです。来年のガバナー補佐、廣瀬様がいます。



表紙の解説

■ 当地の風景の紹介

登別の地獄谷について、日和山の噴火活動によりできた爆裂火口跡、直径450m、面積は11ha、谷に沿って数多くの湧出口や噴気孔があり、泡を立てて煮えたぎる風景が「鬼の住む地獄」の由来となった。またここから多種類の温泉が1日1万トンも湧出されており、温泉街のホテルや旅館に給湯されている。

白鳥大橋は室蘭市陣屋町から祝津町へ至る国道37号白鳥新道の橋、自動車専用道路であるが、通行無料となっている。橋の名前は、室蘭港の別名「白鳥湾」から名づけられた。関東以北では最大のつり橋となっている。

洞爺湖は北海道西部に位置し、「洞爺カルデラ」内にできた湖。約11万年前に巨大な噴火が起こり、「洞爺カルデラ」が形成された。湖の中央に浮かぶ4つの島を総称して中島とよんでいる。これは約5万年前の火山噴火に伴って形成された溶岩ドームと火砕丘の集まりである。周囲長は50km、最大水深は180mである。

毎年洞爺湖有珠山ジオパークを舞台に「北海道ツーデーマーチ」が開催され、2日間にわたり40キロ～5キロのゆっくり歩くコース8種があり、昨年は第9グループのロータリーがポリオプラスの宣伝活動をおこなった。本年もポリオプラスをおこなう予定である。